

海女の魅力再考!

海女学 講座Ⅲ

鳥羽・志摩の海女は、なぜ人を惹き付けるのでしょうか。

これまでの海女学講座では、主に歴史や民俗、水産の分野から海女を論じてきました。

今年度は文学や芸術の面も加えて、改めて海女の魅力を考えます。

1 11/21(土) 松月 清郎 (ミキモト真珠博物館館長)
真珠と海女の文学

2 12/ 5 (土) 松田 浩一 (三重大学生物資源学研究科教授) ※12/19のみ、13:30~16:30開催
水産資源の管理とこれからの海女漁

12/19(土) シンポジウム「各地の海女と海藻漁」※海女研究集会を兼ねて開催します。

齋藤 典子 (名古屋工業大学非常勤講師)

潜水漁を行う日・台・韓の海人の漁撈形態から考える海洋資源の利用と保護

3 藤川 美代子 (南山大学准教授)

「よい石花菜」をめぐる解釈の多様性—台湾東北角における「海女の民俗」の共同研究からみえてきたこと

塚本 明 (三重大学人文学部教授・海女研究センター)

近世志摩海女の海藻漁の特質

※開催時間は13:30~16:30です。終了後に鳥羽市内で懇親会を予定しています。

4 1 / 9 (土) 劉亨淑 (韓国東義大学校教授)
日本と韓国の海女観光比較

5 1 / 23(土) リンダ・デニス (女子美術大学准教授) 石原 真伊 (海の博物館事務局長)
海女の生き方に魅了されるアーティストたち

6 2 / 6 (土) 大野 愛子 (石鏡海女・フォトグラファー) 塚本 明 吉村 真衣 (三重大学海女研究センター)
石鏡の古写真を語る—海女関係アーカイブ事業報告を兼ねて

会場：鳥羽市立海の博物館
映像ホール

日時：各日 土曜日
13:30~15:00

当日参加歓迎

入場
無料

